

「非核平和都市宣言」の看板を設置



6月議会党議員団の質問項目 と 議会日程

川村つよし議員の質問

(10日(金) 11am頃からの見込み)

1. 国民健康保険広域化の問題点について
2. 介護保険の見直しについて
3. 少人数学級の推進について
4. 災害に強いまちづくりについて
 - (1) 消防職員の増員について
 - (2) 保健師の増員について
 - (3) 戸建て持ち家の耐震補強推進について
 - (4) 住宅リフォーム助成制度の実施で
住宅の部分的な耐震補強の後押しを
 - (5) 災害時の指定管理者の対応について

議会日程

本会議個人質問

9日(木)・10日(金)・13日(月)

福祉文教委員会 16日(木) …川村議員

都市環境委員会 17日(金)

総務委員会 20日(月)

本会議 最終日 24日(金)

開始はいずれも 午前9:30～

今年3月に「非核平和都市宣言」を実施した尾張旭市。準備をしているという話は聞いていましたが、5月31日市庁舎の西玄関と北面に、看板が掲げられました。

6月9日に予定されている「平和行進」で、立ち寄る市外の参加者も、いっしょに喜んでくれるかな。



映画「100000年後の安全」 今池シネマテークで上映

上映時間

6月2日(木)・3日(金)

14:05、15:35、17:05、18:30

6月4日(土)～10日(金)

10:30、16:00

6月11日(土)～17日(金)

10:30、



「この映画を見に行くと良いよ。」共産党の地域の会議の中で話題になった、映画の紹介です。

本作品はフィンランドのオルキルオトに建設中の、原発から出る高レベル放射性廃棄物の最終処分場「オンカロ(隠された場所)」と呼ばれる施設に、世界で初めてカメラが潜入したドキュメンタリー作品です。

今秋に公開予定だったこの映画を、福島原発の放射能汚染の事故が起き、原発に関する知識を得る事を必要としている人が多いと思います、2011年4月2日から緊急公開する事になりました。

高レベル放射性廃棄物は安全な状態になるまで、10年間かかると言われていきます。フィンランドでは、固い岩盤を掘削し地下5百メートルにまるで地下都市のような巨大な施設を、自国の原発から出る放射性廃棄物の最終処分場として作る事を計画しています。現在の段階では正式に運用されるのは2020年を予定しています。

本作では、安全になるまで10万年を要するという高レベル放射性廃棄物を、果たして10万年間も安全に人類が管理できるのかという問題を、フィンランドの最終処分場の当事者たちに問うています。

(配給会社「アップリンク」社長浅井隆氏の緊急公開にあたってのコメントを一部抜粋したものです)